

令和 2 年度 F D 実施報告書（案）

学部・学科	栄養科学部 フード・マネジメント学科
F D 取り組みへの理念・目標 教育目標「栄養科学の知識・技術およびグローバルな視点を持って考える態度を基盤とし、健康増進に寄与する食品の研究・開発・製造のための知見に加え、食科学を国内外へのビジネスへつなげる知見を併せもつことで、高付加価値な食産業を創出できる人材を養成」を達成するために、また第 7 次中期総合計画に則し、文理融合型学科の特性を活かした研究を進めるために、FD を通じて教育研究システムを構築する。	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
	定例の学科会議開催時または別途の学科打合せにおいて、以下のテーマについて、FD 活動を展開した。
9 月 7 日	<u>テーマ：教育ワークショップの実施</u> 栄養科学部が担当し（FD センター及び栄養科学科と協力）、「教育の質保証に貢献する WEB 授業について」をテーマにオンデマンド型教育ワークショップを企画・運営した。外部講師による特別講演「学生が学び続ける遠隔授業のデザイン」のほか、学内の教員による WEB 授業の実践報告を実施した。
	<u>テーマ：リカレント教育の検討</u> 食品関連企業との対話を進めつつプログラムを検討する予定であったが、コロナ禍の影響により、食品関連企業との対話が困難になり、また著しく状況が変化したインターシップ・就職支援等を優先することとし、次年度以降に検討を先送りすることとした。
1 月 7 日	<u>テーマ：高校生向けアクティブラーニングのプログラム開発</u> コロナ禍の影響により、オープンキャンパス、高校への出前授業、プレカレッジでの、対面でのアクティブラーニング型授業が中止となったが、プレカレッジで予定していたプログラムを学科教員で共有した。
5 月 7 日 7 月 2 日 9 月 3 日 10 月 1 日	<u>テーマ：新カリキュラムへの移行準備</u> 令和 3 年度から新カリキュラムに円滑に移行できるよう、担当領域の教員を中心に、3 つのポリシーとの整合性、科目間の授業内容調整、担当教員の割り振り、免許・資格等の要件との整合性等チェックを計画的に順次検討して最終化した。

9月3日	<u>テーマ：初年次教育</u> 昨年度システム化した「大学基礎演習」（単位なし）を、新カリキュラムにおける正規科目化に向けて、担当教員を決定し、学科教員が協力して内容を詰めていった。
4月2日 5月7日	プレイスメントテストによる英語の習熟度別クラス編成と補完授業（化学；web方式）、プレカレッジ、入学前学習ドリルを引き続き実施し、改善点を検討した。
4月～3月 （12回）	多様な学生に対応するため、科目担当教員及び指導主任間で、出席・理解度についての情報交換を強化し、個別指導に加えて、ラーニングサポートセンターとも協力して対応するとともに、初年次教育プログラムの改善策を検討した。
10月29日 随時	<u>テーマ：グローバル人材育成（TOEIC、ダブルディグリー、海外食文化研修）</u> 栄養科学科と協力して、栄養科学部留学報告会を開催し、グローバル人材育成に寄与する長期留学制度の在り方について、意見交換を行った（報告者3名のうち2名はダブルディグリー制度でハワイ大学 KCC に留学したフード・マネジメント学科の学生） 学科創設後4年間の語学教育、ダブルディグリー制度を含む海外研修の共通理解を深めるため、学科全学生の TOEIC 受験状況・成績等を共有し、新カリキュラムにおいて、①語学科目数・内容の充実、②関連科目の配当年次の見直し、③ダブルディグリー制度の派遣年次拡大等の改善を行うこととした。なお、コロナ禍の影響により、海外食文化研修は中止した。
7月2日 8月6日 10月1日 11月5日 12月3日 2月4日 3月4日 10月29日	<u>テーマ：インターンシップ・就職支援</u> コロナ禍の影響により、就職活動状況が「売り手市場」から「買い手市場」に激変するとともに、選考方法も対面での説明会・面接の多くがオンラインでの説明会・面接等に変更した状況に対応するため、4年生全学生の詳細な就職内定・決定状況や企業情報を共有し、ゼミ単位の担当学生に効果的な就職支援策を検討した。また担当教員を中心に、3年生の「食品ビジネスインターンシップ」の受入先企業を確保し、派遣学生各自が作成した実施報告プレゼン動画を共有するとともに、業務量の増加に伴い、次年度以降は担当教員を2名とする等の改善策を検討した。インターンシップの成果として、新規開拓先企業へ実習後、そのまま早期選考に進み、内々定をもらう学生も出ていることから、今後も継続して取り組む予定である。 連携推進部のビジネス系就職支援担当職員2名の参画を得て、就職活動状況や職員が行っている支援内容について情報共有するとともに、教職協働によるインターンシップ開拓を含む就職支援のあり方について意見交換を行った。
11月5日 12月3日	<u>テーマ：卒業研究・研究ゼミ</u> 卒業研究の発表会のあり方について、検討を進め、再度緊急事態宣言が発令されたことを踏まえ、1月の卒業研究発表会は①発表者が音声付パワーポイント・プレゼン資料を

	作成し、②卒研生並びに当学科の教員が、幅広くプレゼン資料を視聴した上で質問・コメントを提出し、③各発表者は該当の質問・コメントに回答するという3ステップで、全てオンラインにより開催した。
6月4日	<u>テーマ：研究活動</u> 学科プロジェクト研究の進め方について検討した。 教員相互の研究情報交流を図るため、「栄養科学部・食物栄養学科合同研究大会」を2月に実施予定であったが、コロナ禍の影響により延期した。
11月10-30日	<u>テーマ：公開授業</u> 改訂された公開授業実施要領に基づき、公開授業を積極的に活用し、授業改善のためにほぼ全ての学科教員が他教員の授業を参観した。
9月～12月	<u>テーマ：資格試験への対応</u> HACCP 管理者認定のためのワークショップ実施(学会主催：9月)、食品表示検定試験(11月)、(専門)フードスペシャリスト資格認定試験(12月)に向けて、学生の受験申込状況や各出題科目の理解度(受験対策進捗度)を情報共有するとともに、特に専門フードスペシャリスト資格試験の合格率向上を目指して、対策講座を10回実施した。

「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況

項目	主な実施内容	進捗状況	補足説明
授業科目の組織的な管理	ループリックの導入	☐ 未着手 ☒ 検討中 ☐ 実施中 ☐ 実施済	一部の科目で、課題ループリックを実施中。
教員の教育力に対する評価の導入	授業アンケート結果の組織的な活用	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☒ 実施中 ☐ 実施済	各学期の学生による授業アンケートの結果をもとに、昨年度との比較、他学科・学部との比較等を行っている。
教育方法の改善	アクティブラーニング (特にPBL)の推進 PBL：課題解決型授業	☐ 未着手 ☐ 検討中 ☐ 実施中 ☒ 実施済	引き続き、アクティブラーニング型の実験実習科目に加えて、学科プロジェクトやビジネス系科目・コミュニケーション科目でアクティブラーニングを推進している。

「FD2014」はサイボウズのファイル管理「FDセンター」にあります